



ますます、三陸常磐の海の幸をごひいきに!



ごひいき!
三陸常磐
キャンペーン
とは?

“GOHIKI” SANRIKU JOBAN CAMPAIGN



▲コンビニコラボで展開された商品

▲よみうりランドで行われたアンバサダー認定式での「アルコ&ピース」



▲マルトSC平尾子店にて、安島社長と岩田経産副大臣と大坪善久シェフ

▲豊洲イベントにて、横山由依さん、「アルコ&ピース」の酒井さん

「ごひいき!三陸常磐キャンペーン」は、三陸常磐の海産物の魅力を多くの人に伝えるため、2022年10月にスタート。「アルコ&ピース」をアンバサダーに起用し、よみうりランドでのコラボイベントを皮切りに、イベントの実施、出展や、リテラー各社とのコラボレーションなどを展開。昨年度は、全国のリテラー17社にご協力を頂き、計約830店舗、15都府県においてキャンペーンが展開され、コンビニ大手3社とのコラボも行うなど、多くの方々に三陸常磐の海産物を手にとって、味わっていただくことができました。これからも三陸常磐の海産物の魅力を日本全国、そして国外に、どんどん発信していきます。

「地元でも、もっとごひいきに!」福島コラボは、福島県を中心に展開する4つのスーパーが、地元産の海産物のおいしさを、魅力をもっと地元の方々に知ってもらいたい、という思いを共有し、「ごひいき!三陸常磐キャンペーン」の企画の一環として昨年度初めて実施されました。それぞれのスーパーで鮮魚はもちろん、海産物を使った加工品など様々な商品が販売され、地元の方々の食卓を三陸常磐もので彩るきっかけとなりました。



▲常磐ものを試食する齋藤経産大臣

イベント後には、福島県内の小売・流通事業者との意見交換会も行われました。齋藤大臣は「海洋放出を開始してから一部の国や地域による輸入規制の強化などもありましたが、こうしたものを除くと大きな風評影響が生じているという声は聞かれておりません。これもひとつに地元産の漁業関係者、小売・流通事業者のみならず、ご尽力と

「ごひいき!」進行中! 今後もますます 福島コラボは、9月以降も継続して展開される予定です。3年目を迎えて、ますます広がる「ごひいき!三陸常磐キャンペーン」の取り組み。これからもぜひ注目ください。

三陸常磐の豊潤な海の幸を多くの方に知っていただき、味わっていただくために経済産業省が中心となって実施している「ごひいき!三陸常磐キャンペーン」。今年度、3年目に突入した「ごひいき!」の第一弾の企画は、昨年実施して好評だった「地元でも、もっとごひいきに!」福島コラボ。今月8日には、福島コラボのキックオフを記念したPRイベントも開催されました。

4つのスーパーが団結 福島コラボ今年も開催! 8日(木)には、ヨークベニマル南福島店(福島市)でイベントを開催。齋藤健康経済産業大臣、4つのスーパーからヨークベニマルの大高耕一路社長、マルトの安島浩社長、いちいの伊藤信弘社長、リオン・ドールの金子清事務、福島県水産市場連合会からは遠藤一弥会長が登場。イベントの冒頭、あいさつに立つ齋藤大臣は「この機会に、い

三陸常磐ものの魅力を これからも発信 まで三陸常磐ものを食べたことがある方にはさらに、まだの人がいればぜひ食べていただきたいです」と語り、キャンペーンをアピール。その後、福島県相馬沖で水揚げされた「ひらめ」「ほっき貝」を試食、そのおいしさを絶賛しました。



▲「地元でも、もっとごひいきに!」福島コラボ、売り場の様子(ヨークベニマル南福島店)

ごひいき!三陸常磐キャンペーンにご協力いただいている、スーパー・小売店のみなさま



これまでの取り組みは公式HPでご確認いただけます!

